

① 研究課題名：

肺動静脈奇形における神経学的合併症の発生病因の検討

② 研究の目的：

肺動静脈奇形は、肺動脈と肺静脈の右左短絡であり、慢性低酸素血症に伴う労作性呼吸困難やチアノーゼなどの症状が生じます。さらに、脳梗塞や脳膿瘍という神経学的合併症を引き起こすことがあります。

現在、治療法としてコイルで塞栓するカテーテル治療が広く普及しており、一般に3mm以上の大きさの肺動静脈奇形で治療の適応となっています。一方で近年3mm未満の肺動脈奇形でも神経学的合併症の発生の報告があり、また多発症例は合併症のリスクが高いとの報告もあります。しかし、単発病変に関してそのリスクを検討した報告はなく、現在の肺動静脈奇形に対するカテーテル治療の適応基準は施設や術者によりさまざまです。

本研究は、肺動静脈奇形に対するカテーテル治療における適応基準を明らかにすることを目的として、後方視的に肺動静脈奇形における神経学的合併症の発生病因を検討します。

③ 研究期間：西暦2021年2月～2023年3月31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：名古屋市立大学大学院医学研究科放射線科 下平政史

研究実施施設：名古屋市立西部医療センター他実施計画書に記載された施設

⑤ 研究の対象：

西部医療センターにおいて、2004年1月～2020年10月の間に肺動脈奇形と診断された方。

⑥ 調査項目：

- ・CT情報：撮影日、症状、症候性の診断の有無、合併症部位、スライス厚（mm）、単純 or 造影
- ・患者情報：年齢、性別、併存症、静脈血栓の有無
- ・肺動静脈奇形の状態：部位、タイプ（Simple、Complex）、Complex の場合流入動脈の数・場所、流入動脈のサイズ・形状、動脈と静脈の間にできた瘤状の部分のサイズ、内部血栓、流入動脈の蛇行の程度
- ・治療：治療の有無、治療内容

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、名古屋市立大学大学院医学研究科放射線科へ提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

論文、学会等で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出を

された場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究に、利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	放射線診断科	佐々木 繁 TEL : 052-991-8121 (代表)